

東大校友会ニュース

September 2019

U T o k y o
A l u m n i
A s s o c i a t i o n
N e w s

no. 37

contents

- 2 | 東大女子が卒業して70年
- 8 | 教養学部創立70周年記念シンポジウム
「駒場スタイル」の未来
- 10 | 2019年東京大学ホームカミングデーは
10月19日
- 12 | 東大校友会サポーターとは?/
東京大学校友会支援基金
- 14 | 呼吸でカラダと心を整える
TFT誌上レッスン
- 16 | 同窓会活動・設立レポート
- 18 | 東京大学の今 News Topics
- 22 | 東京大学基金よりご案内



現在、東京大学文書館に保存されている東京大学総長宛の昭和21年当時の「文部省往復」。

東大女子が卒業して

1949年（昭和24年）に東京大学教養学部が創立されて今年で70周年を迎えた。遡ること3年前の1946年（昭和21年）、文部省の通達により女子の大学入学の検討が進められ、大学の門戸が開放された。歴史的な幕開けとなった時代背景はどのようなものだったのだろうか。

女子入学

女性の入学が最初に問題となったのは、帝国大学に転換する前後のことであり、評議会の記録によれば、1890年(明治23年)に次のようなそっけない記事が出てくる。

婦人入学ノ件 右ハ入学ヲ許サザル事

当時評議会は、選科生の入学については審議していなかった。それから推すと、各分科大学への正規入学についての決定を記したものである。またこの記事は、明治・大正・昭和期を通じて、女子入学に関する唯一の記録であった。

戦後の入学者選抜の動向と女子の大学入学

戦後、東京大学では引き揚げ学徒の編入学措置がとられた。仮卒業の帰還学生は学部毎の適宜対応となった。また女子の大学入学についても検討が進められ、2月1日発学三十号「女子教育刷新ニ関シ大学規程中改正ノ件」及び文部省令第三号大学規程中改正をもって女子にも大学の門戸が解放されることになった。 ※資料1

次いで2月21日発学八十七号「昭和二十一年度大学入試者選抜要項」が発せられ、戦後最初の入学者選抜の具体的内容が明らかになった。この要項では選抜は筆答試問、口答試問、身体検

査、調査書等の総合判断によることとされ、志願者の資格がまとめられた。

※資料2

かくして戦後最初の入学試験は1946年(昭和21年)4月に実施された。女子の志願者は法学部16名、医学部12名、文学部49名、理学部17名、農学部5名、経済学部9名の計108名を数えたが、合格者は19名。内訳は法学部4名、医学部1名、文学部8名、理学部2名、農学部1名、経済学部3名であった。女子の合格率は17.6%で、男子専門学校卒業生の合格率9.7%より、はるかに高かった。

同年、北海道と名古屋を除く五帝大は、文科系・理科系緒学部にわたって合計51名の女子合格者を迎えた。

(資料より一部抜粋)

※資料1

年表 女子の大学入学への道

1945年(昭和20年)

- 11月 文部省により、戦後の臨時措置として引き揚げ学徒の編入学措置がとられる
12月 第一次引き揚げ学徒の転入学試験を実施

1946年(昭和21年)

- 2月 女子の大学入学について検討が進められる
昭和二十一年度大学入学者選抜要項により、入学者選抜方法が発表される
4月 戦後最初の入学試験を実施。女子に門戸を開放

1947年(昭和22年)

- 6月 新大学制実施準備委員会発足。新制大学への移行に関する諸問題を審議
9月 東京帝国大学を東京大学と改称

1949年(昭和24年)

- 3月 旧制最後の卒業式(初の女子学生を含む)を実施
5月 国立学校設置法が公布・施行され、新制東京大学創設(31日)。
教養学部と教育学部が新設され、法・工・文・理・農・経済・教養・教育の9学部体制となる
6月 新制東京大学の第1回入学試験実施。
7月 大講堂で入学式を実施

女子教育刷新ニ関シ大学規程中改正ノ件

今般本省ニ於テハ女子教育刷新ニ関シ男女間ニ於ケル教育ノ機会均等及教育内容ノ平準化並ニ男女ノ相互尊重ヲ促進スルコトヲ目途トシテ之ガ方針ヲ決定相成タル処、女子ニ対スル高等教育ニ関シテハ、女子大学ノ創設並ニ大学ニ於ケル共学制ヲ実施スルコトト相成、本日別紙ノ通り大学規程中改正ノ件公布相成タルニ付テハ右御了知ノ上可然御取計相成度

(『文部省往復』昭和二十一年(三))

(資料より一部抜粋)

※資料2

五 出願手続ハ左ノ通りトスルコト

1 大学ヲ志願シ得ル者ハ左ニ該当スルモノナルコト

但シ本設置ハ今回限リトシ昭和二十二年度以降ニ就テハ更ニ整理スル予定ナルコト

- (イ) 高等学校高等科卒業生及大学予科修了者ニシテ現ニ大学ニ在籍セザル者
(ロ) 男女専門学校本科卒業生
(ハ) 高等女学校高等科卒業生但シ修業年限四年ノ高等女学校卒業修業年限五年ノ高等女学校第四学年修了ヲ以テ入学資格トスル修業年限三年ノ高等科卒業生又ハ修業年限五年ノ高等女学校卒業ヲ以テ入学資格トスル修業年限二年ノ高等科卒業生
(ニ) 高等師範学校卒業生(高等師範学校第三学年修了者ニシテ文理科大学ニ入学志願スル者ヲ含ム)、女子高等師範学校卒業生及修業年限三年以上ノ臨時教員養成所又ハ実業学校教員養成所卒業生
(ホ) 師範学校本科卒業生但シ昭和十八年九月以降ノ男子卒業生ニ限ル
元師範学校専攻科卒業生
(ヘ) 大正七年文部省令第三号第二条第二号ニ依リ高等試験ノ予備試験ヲ免除セラルル者
(ト) 陸軍航空士官学校及陸軍経理学校卒業生但シ陸軍官学校及陸軍航空士官学校第五十九期並ニ陸軍経理学校第八期生ヲ含ム
海軍兵学校、海軍経理学校卒業生但シ海軍兵学校七十五期生及海軍経理学校海軍兵学校、海軍経理学校卒業生但シ海軍兵学校七十五期生及海軍経理学校三十六期生ヲ含ムモ中学校第四学年在学中又ハ之ト同様ノ資格ヲ以テ入学シタル者ハ之ヲ除ク
(チ) 外国法令ニ基キ設置セラレタル学校ナルモ内地ノ高等専門学校ニ相当スル学校ヲ卒業シタル者(例滿州建国大学前期修了生)
- 備考
(一) 軍事関係卒業ノ入学者数ハ該当大学ノ学生総定員ノ一割トシ其ノ取扱ニ付テハ別途通牒スルコト
(二) (ロ)(ハ)(ニ)ニ該当スル女子ノ学校ニ関シテハ各大学ニ於テ必要ナル場合ハ入学資格ニ付一定ノ制限ヲ設クルコトヲ得

(『文部省往復』昭和二十一年度追加(一))

70年

東京大学文書館は2014年4月に設置。東京大学百年史編集室および東京大学史料室で収集した資料、本学にとって重要な法人文書・歴史に関する資料等の適正な管理、保存をしている。



「これは本年わが国に初めて実現せられた婦人参政権と共に、画期的事件といはなければならぬ。」



第15代総長

南原 繁

Shigeru Nambara

1945年（昭和20年）12月14日～
1951年（昭和26年）12月14日在任
6年

太平洋戦争終結から4ヶ月後、東京
帝国大学総長に就任。新制東京大学
への転換を導いた。

南原総長式辞（1946年・昭和21年）

5月1日の入学式で南原繁総長は次のような式辞を述べている。「中略～また今回特に女子の入学生を迎へたことは喜びに堪へない。これは本年わが国に初めて実現せられた婦人参政権と共に、画期的事件といはなければならぬ。約20名の少数と雖も、諸子がよく日本女性の美德を失はず、しかも男子学生に立ちまじつて、いかに大学教育を修得するかは、日本女子教育の将来を卜するものとして、世の注視するところであらう。その外に高校出身者にして、既に他の大学に在つた者、若くは戦時中何らかの事情によつて未だ入学し得なかつた約500名の諸君がある。思ひがけなく斯く多数の諸君を迎へ得たことを喜ぶと共に、諸君は高校の伝統を継ぐものとして、その責任重いものがあるであらう。

かやうにして今回の新入学生は多様な諸要素の混合から成り、わが大学創立以来最初の出来事である。率直に言

つて、大学としてそこに教授上の困難と若干の危惧を感じぬではない。しかし、われわれは諸君のすべてを信頼し、能ふ限り愛と真実を傾けて、これが教育に当るであらう。～以下略」

南原総長告辞（1949年・昭和24年）

「中略～かくて一切の武器を廃棄し、ひとへに平和を諸国民の公平と信義に依頼して、聯合国の承認の下に、敢てこのことを為した日本は、将来平和条約が締結されて、必ずやさやうな国際的保障を受けるであらうことを期待する。(略)

併し、その凡てを通して中立を守り抜くといふことは、決して安易な傍觀主義や日和見主義ではなく、それには国民として固い決心と覚悟を要することを牢記せねばならぬ。私はこのことを、本年初めて送り出す女子学生並びに嘗て軍人であった諸君をも含めた本学の卒業生と、それを通して全国の若き世代に対して、特に云ひたいのである。(以下略)」



男女共同参画担当理事・副学長

松木則夫 特任教授 Prof. Norio Matsuki

1974年東京大学薬学部卒業、79年同大学大学院薬学系研究科博士課程修了。97年～2014年まで同大学大学院薬学系研究科教授。専門分野は薬理学および神経科学。

社会で活躍する女性を増やしたい

東京大学では女子学生を増やすためにいろいろな施策を行っていますが、相変わらず男女比が偏っているのは事実です。親御さんは「娘に浪人をさせたくない」「結婚ができないのでは…」と心配しますが、今は学歴だけで通用しない時代です。

学生時代に強力な人間関係を培えば、社会に出てからの人脈作りに役立ちます。大学では、優れた設備・指導者の

もとで最先端の研究を行い、生涯に渡り実力を発揮できる能力を身につけることが重要です。また、このような学びの環境に多くの女子学生を迎えたいと思います。

親御さんのマインド、社会のマインドを変えるのも私たちの役目です。研究者や教員を含めた女性たちが活躍する場を作るためにも、女子学生の比率を増やす後押しをしていきます。

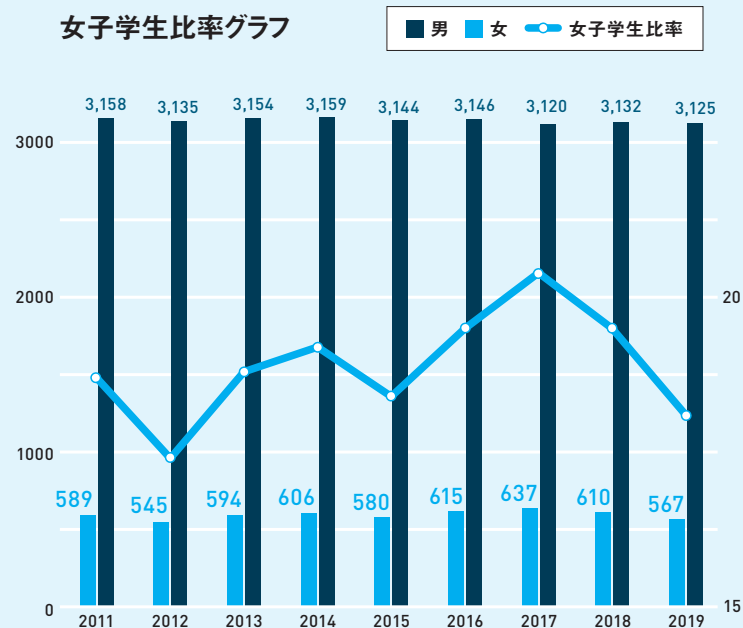
未来に向けて

入学二ヶ月後の6月5日、女子学生たちが山上会館で懇談会を開き、衛生施設の完備、控え室設置、学内公衆道徳の重視、さらに女子学生会結成などについて要望された、と『帝国大学新聞』は報じている。

戦後に行われた措置は、これまで高等学校卒業生のみに限定されていた大学を、大学への道を閉ざされていた旧制専門学校卒業生や女子に開放した点に大きな意味があった。1949(昭和24)年、東京大学は女子学生17名を社会に送り出した。

それから70年。2019年度、東京大学には567名の女子入学生があった。500名を越えたのは1992年度(平成4年)であり、それ以降大きな数字の伸びはない。今年度の女子入学生は全入学者からみれば、2割をきっている。東大は「2020年までに学生の女性比率30%」を掲げており、女子の比率向上にむけて施策が目される。

女子学生比率グラフ



男女比率の大きなアンバランスは、深刻な問題である。

※本学入学者調べより

参考図書

『東京大学百年史』百年史編集委員会
『東京大学の歴史 大学制度の先駆け』講談社学術文庫 寺崎昌男著
『歴代総長式辞告辞集』東京大学創立120周年記念刊行会

教養学部創立70周年記念シンポジウム 「学際知の俯瞰力」より

「駒場スタイル」の未来

「学内広報」No.1525より抜粋



コーディネーター

武田将明教授

Masaaki Takeda

イギリス文学・言語感研究



東 浩紀

Hiroki Azuma

批評家/作家



岡ノ谷一夫教授

Kazuo Okanoya

生物心理学



鹿毛利枝子准教授

Rieko Kage

比較政治学



金子邦彦教授

Kunihiko Kaneko

非線形・複雑系の物理



西崎文子教授

Fumiko Nishizaki

アメリカ政治外交史

新制東京大学の第1回入学式が行われたのと同じ7月7日、

教養学部の創立70周年記念シンポジウムが900番教室にて開催されました。

ビデオメッセージ紹介や2つの記念講演の第1部に続き、第2部では

現任教員と駒場にご縁が深い方が登壇し、駒場におけるユニークな研究・教育活動、すなわち「駒場スタイル」について議論しました。ダイジェストでお届けします。

駒場スタイルとは？

岡ノ谷 私は小鳥のさえずりなどから人間の言語の進化を探る研究をしています。最初は千葉大学の文学部でした。小鳥の脳を調べていると「それは文学部でやること？」と言われました。その後、理化学研究所に移りました。すると「理研で言葉の研究を？」と言われました。そんな学問的彷徨い人だった私が落ち着いたのが駒場です。駒場スタイルとは、文理融合の学際研究をし、それを支える教養教育を行うことだと思います。ただ、駒場でも文系と理系の壁は感じます。それを乗り越える仕組みを作ることが重要ですが、なかなか難しいのも現状です。

鹿毛 私は学生を野放しにすることで知られる京都大学の出身です。東大に着任して、教員が学生を細かく指導していることを知り、東大生は大変だと思いました。教員にとっても、前期課程の授業をするのは大変です。たとえば一般政治学の授業では、全体を俯瞰して教えることが求められ、自分の苦手な部分もきちんとカバーしないといけません。生半可なことをいうと厳しく突っ込まれますから、周到な準備が必要で、それも毎年やり直さないといけない。教えるほうも非常に勉強になり、それが自分の専門にフィードバックされていると感じます。学生にも効果があるとよいのですが。

金子 私は生命とは何かを理論物理を用いて研究しています。こうした分野の研究体験ゼミに、1年生が意外とハ

マります。まだ専門にわかれておらず、自分が知りたいことに必要なものを素直に学ぼうとするからです。学際というと、学問分野がわかれていてそれを架橋するような印象がありますが、振り返れば学問分野がいまようになってからせいぜい100年ぐらい。人類の長いスケールからみたら短いものです。学問がわかれる以前に立ち返って考える。それが駒場スタイルにつながるように思います。

西崎 駒場の魅力は、開放性、風通しのよさ、優れた先生と才気ある学生がいることだと思います。そして、新しもの好きな面と古いものを大切にす面の両方がある。私の分野でいうと、南原繁、矢内原忠雄のお二人がアメリカの研究者との交流を1950年代に始めていたのが現在のアメリカ太平洋地域研究センターに生きています。歴史を大事にしながらし新しいものを積み重ねていくのが特徴的。一方で思うんですが、学生の頃は学際性なんてわかりませんでした。私は4年生になって基礎がなっていないことを痛感して学外に出ました。教養教育、学際性の難しさの表われ。学生の目から見てどうなのかを考えないといけないと思います。

東 私は駒場で科学史・科学哲学から表象文化論に進みました。そこで社会と大学を自由に横断することを教えてもらった。哲学は社会と関係し、学内と学外を横断しないと意味がない。大学院時代から出版界隈で仕事したのは、そういうことを許容する環境があったからこそ。ただ、その後は大学から離れました。どうして大学でうまく

いかなかったかという、皮肉なことに、駒場が自由すぎたのだと思います。駒場スタイルとは自由であることではないでしょうか。

駒場スタイルの発信

武田 教養学部は東大の中で知名度が低いという声があります。東大というと安田講堂や赤門が有名ですが、どちらも本郷キャンパスのもので、駒場の留学生には「教養学部は赤門がなく残念」といわれます。今後の発信はどうすればよいでしょう。

西崎 教員も学生も卒業生も、個々の活躍は目立っていて、発信力はあると思います。私はGPEAKに関わってきました。様々な国の学生がいて刺激的ですが、国際プログラムの運営は非常に大変です。普通の授業プラスαの仕事になり、教員には試練です。短期的なサイクルで動かす傾向があるが、長い目で見た地道な活動と、覚悟と資源も必要です。産学連携の点で言えば、70周年記念の本^{※1}では、大隅先生が、昔は産学連携反対がスローガンだった、と話していました。今では軍事研究を考えないといけません。軍事研究は予算だけでなく発想の点でも他の学問分野に影響を及ぼします。発信についても広い視野で見たほうがよいでしょう。

金子 駒場の理系は発信が下手だと思います。多くの人は大隅先生＝東工大と思っていますからね。うちの学科からは総長大賞が2年連続で出ました。東大のベスト学科といってもいい。でもその割にPRできていません。ただ、その受賞者は、円城塔^{※2}の小説を読んで興味を持ってうちの研究室に来ました。あまり必死に宣伝せず、「じわじわ発信」でいいのではと思う。気づいたら駒場の人だった、という奥床しさも駒場スタイルでは？

鹿毛 大学は研究の水準こそが価値。水準を上げ、それを見て学生が集まり、さらに水準が上がって……というのが、知名度を上げる近道です。私のいる社会科学専攻では、計量政治学の世界的研究者が輩出しています。プリンストン大学教授の今井耕介さん、MIT准教授の山本鉄平さん……。海外で東大教員だというと「法学部じゃないのか」と聞かれますが、そこで彼らの名を出すと納得されます。「卒業生の七光り」

ですね。卓越した研究者を出し続けることに尽きます。

岡ノ谷 研究室から学生が巣立ち、自ずと発信してくれています。学位を取った後フルートを吹いて生きている人、卒論をもとに小説を書いて新人賞もらった人、同志社大学の研究所を駒場色に染め直している人、文系だったが自然にプログラミングを身につけて企業で活躍している人……。卒業生が発信するのが駒場スタイルだと思います。思うに、21世紀の教養人には心と体の理解が重要です。それには文系の知識と考え方が必須となるでしょう。人工知能をやるなら、現象学も他我問題も心の科学も知らないともずい。語学もそうです。外国語を学ぶのは世界の多様性を知ること。Google翻訳がいくら発展しても人間自身が語学をやるせないといけない。そうした姿勢を駒場が発信するのが大事です。

駒場スタイルの未来

武田 駒場スタイルはどのように維持すればいいのか。学際性は伝統ですが、ゆえに制度に取り込まれていないか。教員の忙しさはどうすればいいか。また、構成員の多様性はどのように確保すべきでしょうか。

金子 リアルの世界でないといけないのは奇跡を生むことです。AIに奇跡は起こせません。何もできなかった学生が数年後に大化けするのを見ることがある。あれは奇跡。奇跡を生む場であることが大学の使命です。研究室という共通の場で学生と向き合っているうちにそれはたまには起きる。教養とは冗談をわかり合えること。冗談が通じ合う場で何か生まれる。なので、教員は忙しい雰囲気を出してはダメ。多忙でも冗談を言って不思議な場を保ち続ける。それを自信を持ってやるのがいいと思います。

西崎 私はグローバル地域研究機構の機構長をやっています。いろいろな地域の研究センターをつなげて一つの枠組みを作るもの。課題は相互の研究を可視化することです。皆面白いことをやっているが、互いに何をやっているか知らない。これは駒場の一つの現状です。誰に向けての可視化か。学外はもちろん、学内の教員相互の可視化もすべきです。イベントなどの情報も含

めて。大学院生も自分の研究に専念しすぎてほかの研究を知らない面があります。多様な研究のエクスポージャーが駒場の未来につながるはず。

岡ノ谷 金子先生のように体力ある先生ばかりではありません。改革しようとすればするほど研究時間は減る。駒場には改革を拒否してきた歴史があります。秋入学の議論で駒場は反対しました。入試への英語民間試験導入に関しても英語部会が明確に反対しました。対象によっては改革をしないことを主張する勇気が駒場にはある。今後も持ち続けるべきです。構成員の多様性でいうと、今日は6人中3人が東大卒以外。こういう場に東大文化に染まらない人がもっと入るべき。東大出身者はまじめにやりすぎる傾向がある。きっちりやらないことも文化に入れたい。

武田 話を聞いていて、研究倫理が問われるときこそ駒場の学際性格が役立つ、と思いました。学生への可視化も本当に大事です。PEAKの授業は一般学生も対象なのに履修者は少ない。PEAK生の刺激は一般学生にも大きいのに、そのことの可視化が十分ではないのだと思います。

金子 体力で頑張っているわけではなくて、忙しくないようにするためには、だめなものに「No」ということが必要です。

岡ノ谷 同感です。この前、新学術領域研究の見直しで、複合領域をやめるという話が出た際、駒場が否定されたように感じました。そこに「No」を言いたい。いろいろな複合からしか新しいものは生まれません。あと、私は学生に論駁されるのが好きで、よく論駁されています。ある学生は、研究室に来た理由として、「先生ぐらいでなれるなら俺もなれるだろうと思った」と言いました。そういうところを見せてあげることは駒場の雰囲気の良さにつながるのかもしれませんが。

武田 それは謙遜がすぎますね。でも、学生と教員の関係のよさというのは確かに駒場の特徴でしょう。それが今後も変わらず続いていくことを願いつつ、締めさせていただきます。

※1 創立70周年記念出版「東京大学駒場スタイル」(東京大学出版会刊)

※2 金子研究室出身の作家。ペンネームは金子先生の小説に登場するプログラムの名が由来。

10月19日(土)

第18回

東京大学 ホーム

年に1回の卒業生のための祭典「東京大学ホームカミングデー」を開催します。卒業生に限らず、

特別フォーラム

会場／安田講堂 10:40～12:30

Theme

「AI時代を 生き抜く処方箋」

松尾氏、養老氏にそれぞれ講演していただいた後は、人生100年時代に突入する中、急速な進化を遂げつつあるAIにより、働き方、暮らし方にどのような変化が起こりうるのか？を語っていただきます。

講演 1

「AIの 可能性と限界」



松尾 豊

Yutaka Matsuo

東京大学大学院工学系研究科特任教授
大学院工学系研究科附属人工物工学研究センター教授、日本ディープラーニング協会理事長。専門分野は、人工知能、ウェブマイニング、ビッグデータ分析。

講演 2

「AI時代を 生き抜く処方箋」



養老 孟司

Takeshi Yourou

東京大学名誉教授。1962年東京大学医学部卒。東京大学医学部教授、東京大学総合資料館長、北里大学教授を歴任。『バカの壁』『養老訓』『本質を見抜く力』『遺言。』など多数の著書で知られる。

【モデレーター】



横山 広美

Hiromi Yokoyama

東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構教授

特別フォーラム関連イベント

Theme

「AI（人工知能）」研究 最前線

AI研究の現状について、理論・技術の概説に加え、ビジネス現場にどのように実装されているかの事例を紹介。また、日本のAI人材不足の現状にも触れます。

Pick Up Events

その他、東大ならではのユニークなプログラムの数々をご紹介します。無料で楽しめる講義、ワークショップなど、どなたでも気軽に参加できます。

詳細は

東京大学HCD

検索

「専門家のためのリベラルアーツ ～東大卒業生はみな教養人か？」

卒業生は何らかの「専門家」として各界で活躍しているが、果たしてみな「教養人」と言えるのか？社会に出て活躍する職業人として必要なリベラルアーツとは何か？—石井洋二郎東大名誉教授（前教養学部長）と藤田裕子東京大学大学院総合文化研究科教授がユニークな視点から自由に語り合います。



石井洋二郎

東京大学名誉教授

安田講堂ステージ

東京大学のシンボルとも言える安田講堂を舞台に、音楽団体が合唱や演奏を繰り広げます。オープニングはプロ集団「和太鼓彩」が登場し、圧巻のパフォーマンスを披露。その他、学生、OBOGによる力強い演奏もご期待ください。



2005年に東大サークルとして結成。現在はプロの和太鼓集団として世界各地で公演をしている。

カミングデイ 2019

どなたでもお楽しみいただけるイベントです。皆様のご来場をお待ちしています。 ※一部を除き無料

懐徳館庭園特別公開

2015年3月、国の名勝に指定。旧加賀藩主前田氏本郷本邸に起源を持つ庭園です。普段は非公開ですが、ホームカミングデイ1日のみの一般公開です。



庭園から、大学の迎賓施設である木造和風建築の懐徳館を望む。

ことばの危機

—入試改革・教育政策を問う—

教科としての「国語」に焦点を当て、新テストの問題例(記述問題)、新指導要領等が公示される中で、文章を読み解く「人文知」の根幹、あるいは「読解」という概念が大きな危機を迎えていることに警鐘を鳴らします。

わが子の婚活応援セミナー

「少子化社会対策白書」によると、晩婚化や未婚率の上昇が深刻化する様子があらためて浮き彫りになっています。専門家が現代結婚事情と親の婚活の現状を織り交ぜて解説。子どもの将来を心配、悩むだけでなく、親としてできることを考えます。

タイ古式マッサージ施術体験

駒場の自主ゼミ「タイ医学ゼミナール」を受講した学生による、タイ古式マッサージ施術体験コーナーです。椅子に座ったまま肩や腕周りをほぐします。※施術時間は5分程度。

のびのび広場

小さなお子さん連れのババママたちが、家族で一緒に楽しめます。いつもの遊びとはちょっと違う親子の触れあいをしてみませんか？



「子どもがいるから世界が広がる」—そんな場所を提供。

銀杏並木エリア

東大に縁のある13の蔵元が参加。試飲チケットの購入で1杯100円から楽しめます。今年は協賛品飲料もグッと増えました。パフォーマンスステージもひときわ賑わかになります。



学生サークルが演奏する南米音楽folklore。リズムカルな楽曲を踊りとともに披露。

年次同窓会を同時開催

今年も学部学科を超えた同窓会を開催します。対象年は以下の方々です。20周年学年会は初の同期会ですね！各学年会のwebサイトから事前にお申し込みください。



20周年学年会

[対象]
1995年入学
99年卒業/99年院入学
01年医学・農学部
獣医学専攻卒業
[時間]
13:00～15:00
[場所]
生協 第2食堂



30周年学年会

[対象]
1985年入学/
89年卒業/89年院入学/
91年医学・農学部
獣医学専攻卒業
[時間]
15:30～17:30
[場所]
生協 中央食堂



40周年学年会

[対象]
1975年入学
79年卒業/79年院入学
1年医学部卒業
[時間]
14:00～16:00
[場所]
山上会館1階
談話ホール「CREDO」

東京大学校友会の新たな活動 「東大校友会サポーター制度」

この制度に登録している卒業生たちは、社会で身につけたスキルやキャリアを活かし、在学生や若手卒業生を支援したいという趣旨のもとに集まっています。サポーターの皆さんは大学の発展のために社会で得られた知恵や経験を大学に還元していると言えます。ご賛同いただける方は、ご登録をお待ちしています。



サポーターによるワークショップ。この日は卒業後10年の若手を対象にキャリアデザイン、ライフプランを考える気づきの時間。

「東大校友会サポーター」募集中

「キャリアや進路を気軽に話せるイベントに参加したい」「就活生を応援したい」という方々をご応募ください。

※応募者には東京大学校友会スタッフが面談させていただきます。お申し込みは東大アラムナイサイトをご覧ください。



サポーターの声 森康智さん | 2014年人文社会系研究科修了

好意的な反応をいただくことに喜びを感じるだけでなく、自己研鑽の上でも貴重な経験を得ることができ嬉しく思っています。また、活動を通して接する卒業生の方々が非常に魅力的で、交流できることをいつも楽しみにしています。

今後は多彩な卒業生のネットワークを活かして、普段なかなか知ることができないような職業や個人的なキャリアの歩み方を広く共有できるイベントを企画運営したいと考えています。

東京大学校友会支援基金

「若手卒業生のキャリア・在学生支援に役立っています」

2017年4月よりご支援ご協力をお願いしています。お陰様で寄付累計額が3500万円を超えました。誠にありがとうございます。本寄附は、学生支援や若手卒業生のキャリアサポートなどに重点的に使いながら、卒業生サービスの向上に役立っています。今後ともさらなる財源拡充にご協力の程、宜しく願いいたします。

東京大学校友会支援基金寄附者芳名（お申し込み順）

石渡 晋太郎殿、★増山 隆殿、★黒木 聡三殿、青木 弘美殿、★蓮沼 恒雄殿、匿名、小林 靖幸殿、★田中 俊治殿、飛田 圭吾殿、★矢原 和幸殿、★阿久津 大成殿、坂次 哲也殿、★大野 慎太郎殿、★森田 富治郎殿、松嶋 成志殿、小西 忠雄殿、★平田 大輔殿

ご芳名の内容 (2019年2月16日～2019年8月15日までのお申し込み実績)
東京大学校友会支援基金にご支援いただいた方のうち、芳名録記載を希望された方。「氏名の記載を希望しない」にチェックされた方のみ匿名として記載。

校友会支援会員

★校友会支援基金5万円以上のご寄付

お詫びと訂正 校友会ニュースNo.36に掲載の芳名録で以下の方のお名前が間違っておりました。お詫びと共に訂正させていただきます。

誤 稲葉 肇殿 → 正 稲場 肇殿



100万円以上ご寄附をいただいた方にはペーパーウエイト(クリスタル製)をお渡しします。



5万円以上ご寄附をいただいた方にはバッジを進呈。

呼吸でカラダと心を整える

6月21日の国際ヨガデーに因み、TFT会員を対象としたセミナーを駒場キャンパスで開催。ヨガの哲学や智慧・呼吸が心にもたらす作用を、実践を交えて学びました。今回、セミナー講師であり、1994年にインドのアーシュラムで入門して以来、ヨガ修行を続けている田辺明生教授にヨガの魅力を伺いました。解説いただいた呼吸法は、日々の生活に取り入れる事でカラダや心を健康な状態に整える効果が得られます。皆さんもちょっとした時間にぜひお試しください。

イラスト：芦野公平

kapālabhāti

カパーラバーティ

「頭蓋骨の光」の意味。

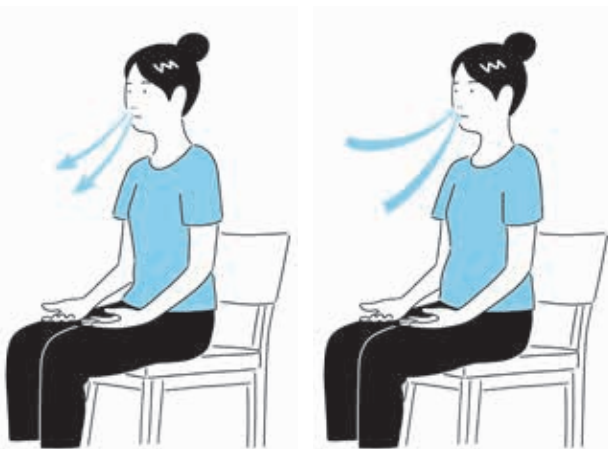
新鮮な酸素をたくさん取り入れる事で、頭をすっきりさせます。

nāḍīśodhana

ナーディー・ショーダナー

エネルギーの通り道である気道を浄化する片鼻呼吸法。

心身のバランスを保ちます。



- 1 基本の姿勢
- 2 下腹部をへこませながら、強く短く鼻から息を吐き出す。
- 3 お腹をゆるめて自然に息が入ってくるのにまかせる。
- 4 1秒に1回ほどのペースで最初は10回ほど。馴れてきたら30回ほど繰り返す。



- 1 基本の姿勢
- 2 右手の中指と人差し指の2本を軽く曲げる。
- 3 親指で右の鼻の穴を閉じる。左の鼻から息を吐き、吐き終えたら左から吸う。
- 4 薬指で左の鼻の穴を閉じ、右の鼻から息を吐く。吐き終えたら右から吸う。3から繰り返す。
- 5 最初は3セット、馴れたら12セットに。

ヨガとの出会い

わたしがヨガに出会ったのは、インドのプリーで、わたしのグルになる方にお目にかかったときだった。1991年の夏、今から四半世紀以上も前のことである。妻と友人も一緒だった。当時のわたしはヨガについても精神性（霊性）についても何もわかっていなかった。大学院生としてインドについて研究めいたことは始めていたので、ヒンドゥー教やヨガに関わることについて読んではいったのだが、それを自分自身の問題としてとらえようとはしていなかった。ただなぜか修行には興味を抱いており、せっかくだとインドに行くのならヨガをきちんとやってみようと思っていたのだ。

そのような無知にもかかわらず、グルの前に座り、お話をさせていただいたとき、なぜか心が弾み、歓びがわいてくるのを感じざるを得なかった。海からの風がやわら

かに吹きとおるアーシュラムのベランダで、グルは玉座と呼ばれる大きな椅子の上にお座りになり、わたしたちはその前にゴザを敷いて座っていた。グルは、当時、五十代末の壮年の女性で、小柄なおからだにふわりとしたオレンジ色のサリーをまとっていらっしやう。その方の前にいると、なぜか自然と心がほどけてくるようであった。グルは微笑んでわたしたちをご覧になり、丁寧にしかし親しみと愛情をこめて話しかけてくださった。ベランダのうえにはツバメたちが巣をつくっており、グルは時折「ツッ、ツッ」とツバメたちにもお声をかけている。ツバメに何をおっしゃっているのだろう、と思っていると、グルが「ツバメたちがあなたたちの上におとしものをしていかと心配だね」と微笑しながらおっしゃった。気取ることなく、ごく自然に、動物にも人間にも等しく愛情をそそぐ、そのお姿の魅力はわたしの心に深く刻み込まれた。

グルが、「修行をするか」とお尋ねになったとき、その意味もわからずに、わたしは「はい、やります」と答えていた。

ヨガとは

それから幾年、ヨガの道は果てしなく、その無限なる精妙さと奥深さにますます感嘆するのみである。ここでは、教えていただいたことの一部をお分けするつもりでお話したい。

まず、ヨガとは何であろうか。

ひとことではいうならば、ヨガは自己の探求である。真の自己を知ること、これがヨガである。なぜ真の自己を知ることが重要か。それは、わたしたちは偽の自己にとらわれて、苦しんでいるからだ。ひとびとはさまざまにとらわれによって、自分自身をがんじがらめにしている。そうしたとらわれから自己を解放すること、これがヨガである。

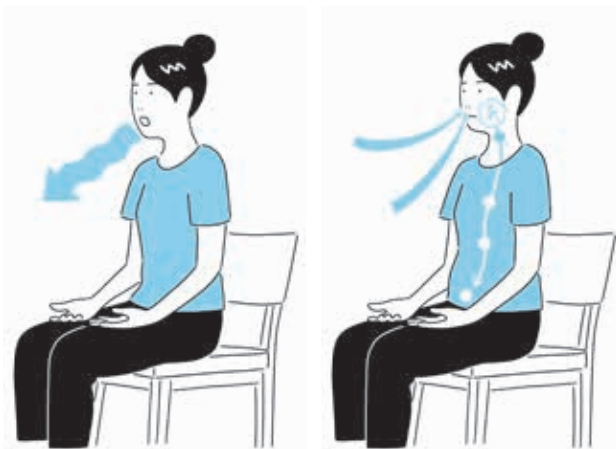


基本の姿勢

背骨をまっすぐにして座る。てのひらをを上にして太ももの上に置く。目は開けても閉じて、心地よいと思う形で。

腹式呼吸法

別名、丹田呼吸法。自分の内側に意識を向け、深く呼吸することで落ち着きが得られます。



- 1 基本の姿勢
- 2 口を軽く開けて息をゆっくりすべて吐く。
- 3 口を閉じて鼻から息をゆっくり吸う。息（気の流れ）が鼻の奥、気道、胸、腹、丹田へと至るのを意識する。
- 4 少し息を止めて、口からゆっくり息を吐き、2から繰り返す。最初は3回、馴れたら12回ほど繰り返す。

真なる自己は、存在そのもの、意識そのもの、歓びそのもの（サット・チット・アーナンダ）であるといわれる。真なる自己を知ることとは、その存在・意識・歓びをそのままに経験するということである。そしてヨーガのすばらしさは、自己の知を、すくなくともその一端を、実際に経験することができるということである。

ヨーガは、アタマでっかちの思想・哲学ではない。むしろ自己の身心の全体を実践的に変容させる道である。ヨーガを実践するために、何かをまず信じることは必要ではない。実修をしていけば、すべては自然に起こってくる。それは自己自身がおのずから変わっていく過程である。

人間は常に、外の対象を認識し、それらに働きかけることに汲々としている。欲しいものを得て、イヤなものから遠ざかりたいと願っている。人間の心は過去を後悔し、将来を心配することに無駄なエネルギー

を費やしている。わたしたちに必要なのは、今ここの自己に立ち戻ることである。外でなく内に意識をむけることである。自己自身への気づきを深めること、これがヨーガである。

ヨーガの道

では、気づきを深め、とらわれから解放され、自己を知ること、それはいかに可能なのか。ヨーガを完成させることは途方もなくむずかしいけれども、ヨーガを始めることは誰にでもできる。今ここに気づくことは、今ここから始まる。

まずは、日頃の行い、ことば、こころのありかたにより意識的であることから始めよう。行いやことばは、忙しくて乱雑になっていないだろうか。そんなときはきっとこころも落ち着きを失っている。そうした自分の状態に気づくことができれば、すでにヨーガは始まっている。



田辺 明生 先生

Akio Tanabe

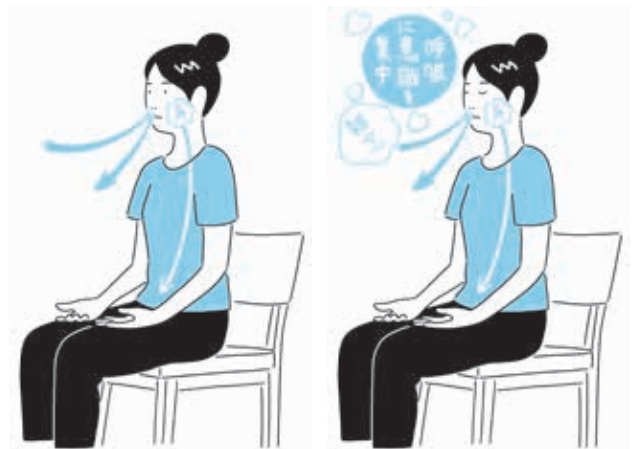
1988年東京大学法学部卒。東京大学大学院総合文化研究科 超越文化科学専攻 教授。グローバル地域研究機構・南アジア研究センター長。博士(学術)。専門は歴史人類学・南アジア地域研究。研究テーマはインドを中心とする歴史人類学、生存基盤論、比較存在論。

ānāpāna-smṛt

アーナーパーナ・スムルティ

入出息念。念はマインドフルネスの意味。

自分の呼吸を意識する事で、集中力が高まります。



- 1 基本の姿勢
- 2 鼻から自然にゆっくりと呼吸する。呼吸に意識を集中する。息（気の流れ）を意識する。呼吸は操作しない。
- 3 雑念が生じたら、意識を呼吸に戻す。
- 4 最初は3-5分、馴れたら10-20分行う。

そしてさらに、少しでもいいから、毎日、自己自身にむきあう時間をとれないだろうか。わたしたちに落ち着きと平安がないのは、こころが乱れ動いているからだ。ただし、こころを直接的にコントロールすることはむずかしい。そこで、呼吸法である。幸いなことに、呼吸をコントロールすることはある程度可能だ。そして呼吸が落ち着けば、あらふしぎ、こころも自然に落ち着いてくる。

こちらで紹介している呼吸法をぜひやってみてほしい。まずはカパーラパーティとナーディ・ショーダナーで呼吸の道をきれいにし、腹式呼吸法で深くゆったりとした呼吸をとりもどす。あとは、入出息念で、ただただ息を観察するだけである。息を観察していると、自分のこころの動きもよくみえてくる。念とはマインドフルネスのことである。呼吸への気づきが深まれば、こころへの気づきも深まっていく。それは、ヨーガへとあなたを導いてくれるだろう。

同窓会だより

同窓会活動・設立レポート

01 2019年度東京大学
校友会役員会を開催

東京大学校友会は2019年7月5日(金)、本郷キャンパス本部棟12階大会議室において役員等29名が出席し、2019年度役員会を開催しました。

冒頭、3期目に入った大塚陸毅会長の挨拶、続いて校友会名誉会長である五神真総長の挨拶、神澤俊介事務局長による校友会の活動報告等が行われました。

その後質疑に移り、本年4月から新たに役員に選任された森田富治郎副会長、藤吉泰晴副会長をはじめ、岩田喜美枝顧問、岡崎一夫顧問、北修爾副会長、牧葉子副会長、水野明久副会長、宗岡正二副会長から、校友会の今後の活動、校友会サポーター等について活発な発言・提言がありました。

新役員紹介

山口 勝之 副会長

NY銀杏会理事長

森田 富治郎副会長

東京銀杏会会長

藤吉 泰晴副会長

東京大学校友会幹事会幹事長/三井食品会長

廖 一久廖(リャオ・イー・チュウ)顧問

東京大学台湾校友会会長

活発な発言を行う
校友会役員メンバ02 カナダ初の同窓会
カナダ赤門会—西地区設立

2019年8月17日、バンクーバーにおいて、五神総長列席の下、カナダ初の同窓会、カナダ赤門会—西地区が設立、第一回総会が開催されました。卒業生を含む18名が参加し、五神総長が祝辞が述べました。東京大学は、UBC(プリティッシュコロンビア大学、バンクーバー)と学生交流協定を結んでおり、昨年は、東京大学が東京で野球の国際親善試合を開催し、今年はUBC側がホスト校となり、バンクーバーで親善試合を開催しました。総長が親善試合に招聘された事がきっかけで、

総長を交え和やかに
歓談する参加者

卒業生が参集、同窓会の立ち上げに至ったものです。今後の活発な同窓会活動が期待されます。[事務局記]

03 第18回
ニューヨーク銀杏会総会

2019年6月21日(金)、伝統あるニューヨークYale Clubにおいて第18回ニューヨーク銀杏会総会が開催されました。参加者は約120名でした。別所国連大使の開会挨拶の後、藤井理事・副学長がFSI(より良い社会を勝ち取るための本学の取り組み)、大学経営(若手研究者の雇用等)、産学連携から産学協創へ、Fundraising体制/財源基盤強化、オンラインコミュニティ「TFT」の紹介など、東京大学の昨今の動向を紹介しました。その後、FUTIのメンバーの方々からの活動状況報告等を経て、最後は「ただ一つ」を斉唱して盛会のうちに終了しました。藤井理事の紹介で東大の現況を知った同窓生もおられ、「知らなかった」「興味深い」「勉強になった」などの好意的な声が多く聞かれました。ニューヨークでは総会以外にも「イチオー会」で、近況報告や情報交換を行っています。[事務局記]

04 台湾校友会の廖一久会長
日経アジア賞受賞

台湾海洋大学終身教授で東京大学台湾校友会会長の廖一久氏(67年生生物博)が、日経アジア賞/科学技術部門を受賞しました。2019年5月29日に帝国ホテルにて受賞式が開かれ、東京大学から、藤井輝夫理事・副学長はじめ5名が列席しました。

日経アジア賞は1996年に創設され、アジアの発展と繁栄に貢献した人や団体に送られるもので、毎年、経済、科学技術、文化・社会の3部門から各1名もしくは1団体が表彰されます。祖母と母が日本人で幼い頃日本で過ごされた廖氏は、日本でのこの受賞をことのほか喜んでおられました。

東京大学大学院で博士号を取得後台湾に帰国、1968年に世界で初めてブラックタイガーの人工繁殖に成功しましたが、養殖技術の特許化せず、広くアジアからの留学生に伝授しました。高級品だったエビを一般家庭に普

日経アジア賞授賞
式にて(右)。

及させ、食卓を豊かにした功績が高く評価されました。「アジアの水産養殖の父」と称されています。[事務局記]

05 令和元年度 鳥取県出身
東大新入生歓迎会開催

今年度の鳥取県出身東大新入生歓迎会が、7月6日(土)13時より、駒場キャンパス内駒場コミュニケーションプラザにて開催されました。この歓迎会は、東京大学元理事・副学長である小島憲道先生が発起人となり、新入生と鳥取県出身東大教職員・学生との相互の交流を深める目的で始まったもので、今回で9回目となります。

歓迎会では、幹事長である有田伸社会科学研究所教授により開会の挨拶がされ、続いて盛山和夫東京大学名誉教授による乾杯が行われました。歓談では全員の自己紹介の後、先輩学生や教職員から学生生活を送るうえでのアドバイス等の話がされ、新入生は熱心に聞き入っていました。最後に、小島憲道東京大学名誉教授により、閉会の挨拶がされ、盛況のうちに終了となりました。

今回は、新入生4名を含む総勢17名と、例年に比べ小規模での開催となりましたが、来年以降も引き続き、新入生歓迎会を開催し、交流の場を設けていく予定です。[事務局]

新規登録団体のご紹介

親和会

学部・学科同窓会

会長 池田 全徳さん(75工)

ボストンエリア東大関係者・卒業生懇親会

海外同窓会

幹事 吉永 宏佑さん(16工)

UTokyo Alumni Association of
Canada-West Chapter

海外同窓会

会長 Henry Tsangさん(06工博)

登録団体数 307 (2019年8月15日現在)

学部等同窓会	46
地域別同窓会	54
海外同窓会	56
運動会	29
文化サークル	18
職域特定分野同窓会	43
クラス会(専門課程同期会)	12
クラス会(駒場)	49

▶ 東京大学の今

News Archive 2019 上期

研究・文化・スポーツの成果をはじめ、
東京大学での主なニュースを紹介します。

▶ アルツハイマー病における アミロイド形成制御法を開発

薬学系研究科機能病態学教室の堀由起子助教と富田泰輔教授、同有機合成化学教室の相馬洋平グループリーダーと金井求教授らは、アルツハイマー病治療を目指して高活性を有する光酸化触媒を新たに開発しました。この触媒を用いた光酸化がアルツハイマー病の発症原因であるタウの凝集を抑制する効果を持つことを明らかにした本研究成果は、4月26日付でChemical Communications電子版に掲載されました。

アルツハイマー病は進行性の神経変性疾患であり、社会の高齢化に伴い患者数が激増していますが、未だ根本治療法は開発されていません。アルツハイマー病の特微的な病理学的所見の一つに、タウと呼ばれるタンパク質が異常に凝集し、「アミロイド」と呼ばれる特徴的な線維構造を形成して細胞内に蓄積する神経原線維変化が挙げられます。このタウアミロイドの形成・蓄積と病理の広がり認知機能低下と相関することから、その阻害がアルツハイマー病の治療戦略の一つとなると考えられます。アルツハイマー病に対する新規根本治療戦略の提示に、光酸化触媒を用いた本研究成果が繋がるのが期待できます。「基礎研究の立場から、いまだに治療法の無いアルツハイマー病の根本治療につなげたいと思い、研究をしてきました」「治療法確立までの道のりは遠いですが、この成果を足掛かりにアルツハイマー治療へと発展させていきたいと思えます」と堀助教は話します。



アルツハイマー病の病因であるタウアミロイドに対し、光酸化触媒により選択的に酸化することで、そのアミロイド形成を抑制する。

© 2019 Yukiko Hori, Youhei Sohma, Motomu Kanai, Taisuke Tomita

▶ Team KUROSHIOが 国際コンペで準優勝

海洋研究開発機構、生産技術研究所、九州工業大学、海上・港湾・航空技術研究所、三井E&S造船株式会社、日本海洋事業株式会社、株式会社KDDI総合研究所及びヤマハ発動機株式会社からなる「Team KUROSHIO」は、海中ロボット等を用いて、超広域高速海底マッピングの実現を目標とする海底探査技術の国際コンペティション「Shell Ocean Discovery XPRIZE」で準優勝しました(出場32チーム)。主催のXPRIZE財団からは「仕様が異なる複数のロボットを連携運用する技術の独自性、条件や状況の変化に対応する柔軟性やカバー領域の広さは素晴らしいものでした」との講評をいただきました。日本の海洋ロボット技術の高さを世界に示した今回のコンペ。技術力、オペレーション力、ネットワークを今後もさらに発展させ、日本発の海洋探査技術「Sne Click Ocean」の実用化に向けて、更なる研鑽を続けていきます。



5月31日にモナコで行われた授賞式にて、XPRIZE財団とTeam KUROSHIOのメンバー。

▶ 駒場第1グラウンドの 改修記念式典を開催

6月22日、駒場キャンパス第1グラウンド改修記念式典を現地で行いました。第1グラウンドは、1994年に土のグラウンドから全天候舗装されましたが、それから20年以上がたち、走路表面の摩耗が進んで改修が必要な状況となっていました。そこで、陸上部のOBOG会である東大陸上運動倶楽部が、2015年から「第1グラウンド改修プロジェクト」を開始し、寄附を募りました。そして2018年までに、OBOG、部員のご両親や関係者から7800万円の寄附を集めることができ、大学からの費用負担も加えて改修を行えることになりました。今年4月末には日本陸連公認第4種競技場としての検定をパスし、改修が完成。

今回の改修により、これまで曲走路が6レーンまでしか使えなかったのが、7レーンまで使えるようになりました。投擲ネットを新しくし、ハンマー投げや円盤投げを国際規格で行えるようにもなりました。式



改修された第1グラウンド。雨の中、約230名の参加者で改修を祝いました。

典には五神総長も参加し、エキシビジョンとして行われた100m走ではスターター役を務めていました。

▶ FSIの登録プロジェクトを 紹介するシリーズがスタート

UTokyo FOCUSで新シリーズが始まりました。未来社会協創推進本部(FSI)の「登録プロジェクト」として登録された、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に貢献する学内の研究活動を、800字程度にまとめて簡潔に紹介していくというものです。第1回はタイの山岳地帯のケシ栽培をコーヒー栽培に転換することで貧困と森林破壊の問題に取り組む東洋文化研究所・池本幸生教授のドイトウン・プロジェクトについて。第2回はGIS(地理情報システム)を活用して途上国の水災害と貧困の関係性を明らかにしている工学系研究科・川崎昭如特任教授のプロジェクトについて。第3回はアンチエイジング効果が高いピーカンナッツを高齢化した日本の農家の問題解決に役立てようと奔走する生産技術研究所・沖一雄特任教授のプロジェクトについて。今後、週2本のペースで公開していく予定です(全34回)。SDGsに貢献しようとして全学で展開されている活動の数々を、「FEATURES」のタグからご覧ください。

▶ 「東大本」と称される 貴重図書『源氏物語』を公開

総合図書館ではこの度、当館の貴重図書であり靑洲文庫の一点である『源氏物語』(写本、54冊)をデジタル化し、一般に公開しました。今回公開した『源氏物語』は、源氏物語研究において必須の資料とも言える『源氏物語大成』や『源氏物語別本集成』にも紹介されているもので、「東京大学本」あるいは「東大本」とも言い習わされています。数多ある『源氏物語』の中で、東京大学の名前を付してよばれる貴重な図書ということもあり、「東京大学デジタルアーカイブ構築事業」の一環として2018年度にデジタル化を行いました。

公開にあたっては、以前からこの資料の調査・研究を進めていた総合文化研究科の田村隆先生に多大なるご助言をいただきました。田村先生による、当該資料の概要や特筆すべき点などをまとめた解説も公開しています。画像とあわせて是非ご一読ください。



<https://iif.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/repo/s/genji/>

2019年度 東京大学役員等の紹介

／以下は担当になります

総長

(任期)

2019年4月1日～2021年3月31日

五神 真

理事・副学長

福田 裕穂 / 総務、入試・高大接続、評価

宮園 浩平 / 研究、施設、懲戒

藤井 輝夫 / 財務、社会連携・産学官協創

松木 則夫 / 教育、学生支援、ダイバーシティ

白波瀬 佐和子 / 国際、広報

理事

境田 正樹 / コンプライアンス、監査、病院

里見 朋香 / 事務組織、法務、人事労務

監事

澤井 憲子

服部 彰

大学執行役・副学長

相原 博昭 / 学術長期戦略

有信 陸弘 / 研究倫理

熊野 純彦 / 図書館

佐藤 健二 / 人文社会科学資産活用戦略

羽田 正 / 国際求心力強化

光石 衛 / 環境安全

森山 工 / 人文社会科学振興

渡部 俊也 / 産学連携



副理事

稲垣 博明 / 柏地区整備、柏地区事務機構長、イノベーションコリドー

奥抜 義弘 / 広報戦略、危機管理・情報共有、業務改革推進・普及

梶 正治 / 女性活躍推進、ダイバーシティ、働き方改革

塩崎 英司 / 病院運営

鈴木 敏人 / 研究倫理、研究費・研究不正対応

戸張 勝之 / 経理・調達

平野 浩之 / 財務制度改革、資金・資産運用

山本 貴史 / SDGs・社会実装

東京大学基金よりご案内

「誰もが幸せに暮らせる インクルーシブな社会の実現をめざして」

あなたの寄附でできること

若い世代の「学びたい」と「挑戦」をささえます。たとえば…

3万円
の寄附で



さつき会
奨学金

(女子学生支援)

1ヶ月分

5万円
の寄附で



外国人留学生
支援基金

(奨学金)

1ヶ月分

10万円
の寄附で



東大演習林の
整備

約400坪(1,300㎡)の森林造成と

1年間の維持

100万円
の寄附で



若手研究者の
活動経費

約3か月分

東京大学基金Webサイトは2019年7月30日に 全面リニューアルいたしました。

- ◆「マイページ」を導入いたしました。
- ◆ご自身の東京大学基金への寄附履歴がわかります。
- ◆称号の確認、継続寄附の内容の変更・停止ができます。
- ◆領収書送付先住所・メールアドレスなどのプロフィール更新が可能です。
- ◆次回から、個人情報入力を省略できます。

マイページ登録をしていただきますと今後の手続きがスムーズになります。
ぜひご登録、ご利用ください。

お問い合わせ

東京大学基金事務局

Tel : 03-5841-1217 (9:00~12:00, 13:00~17:00 土日祝除く)

E-mail : kikin.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp



掲載広告インデックス

東京大学エクステンションセンター	6P
脳梗塞リハビリセンター	6P
三井不動産レジデンシャル	7P
大和ハウス	13P
関西東大会	13P
本郷赤門前霊園	17P
日本旅行	19P
学士会館	20P
プライダル	21P
桜十字	表3
JR東日本	表4

編集発行／東京大学社会連携本部
藤井輝夫／社会連携本部長
アートディレクション／細山田光宣
デザイン／河村織恵
表紙イラスト／門坂 流
印刷／勝美印刷
発行／2019年9月10日

東京大学校友会事務局

〒113-8654 東京都文京区本郷7丁目3番1号
TEL: 03-5841-1227

Email : utaa.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

URL : https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/alumni/index.html